

議員氏名：一石 洋子

議案番号：陳情第3号

案 件 名：地方財政の充実・強化を求める意見書を国に提出することを求める陳情書

討論内容：

私は本陳情に賛成の立場で討論させていただきます。

現在の地域における顕在する課題は、ここ数十年の国策の不備によるものであり、生活現場に近い政府である自治体でカバーすることは、体制が弱過ぎます。

日本の自治体職員数は先進諸国と比して最も少なく、欧米諸国の半分程度と、格段に少ない人数で行政サービスを維持しています。町規模の二宮では、まさにもっと厳しい状況と思います。国からの網かけの分配では、地域特性に沿った有効な獲得が得られず、フロントの創造力を生かす政策決定が困難で、むしろ地域の政策実現力を強めるような配分が重要です。

陳情項目1、増大する自治体の財政需要に適した行政体制の構築と人件費の確保。

2、自治体の一般行政経費に占める社会保障関係経費の割合の増大から、子どもから高齢者までの切れ目のない施策の展開のための措置。

3、地方交付税を引き上げ、自立的で税源偏在の少ない地方税体系に向けた抜本的な改善。

4、国と地方の協議の場等を通じた自治体の制度設計への参画の保障と、減税措置による減収の全額補填。

5、地方創生推進費の、自治体の自由な裁量による一般財源としての恒久化。

7、指定管理や委託に係る自治体の行政サービスを支える全ての人材への配慮。

それから、地域公共交通の国庫支出金の拡充、地域医療供給体制、普通交付税における配分方式の在り方についての不断の再検討、地域の医療体制の安全な持続可能性についても言及がありました。

これらは、自治の裁量を増やし、地域の未来の生きる力を高める長年の研究の成果であり、今日のやり方で未来への持続可能を目指すことが困難であることが明白な状況で、新しいベクトルを見いだすために不可欠な、自治体を強くする陳情項目であると確認しました。

そもそも日本は歴史的に、自治のDNAの強い地域力を持ちながら、標準化、弱体化されてきた反省は、様々なステージで言及されていることです。特に町規模の我が町からこの陳情を上げる価値は高く、不断の努力で意見していくべきだと考えます。